

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
人間発達学 (作業療法学科中心)			必修	2	2 (作) 1 (福)	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
渡辺 俊太郎		C318	csehrrou00032		金曜日 14:30~15:10	
授業の目的・概要	人が人を理解するには、人間の身体の構造と機能、人が生活している環境との相互関係で判断することが大切である。本科目では、心身の構造や機能を把握して人間を発達的な視点からとらえることができる、また、人間を発達的な視点で捉えることで、その後に学ぶ臨床的な知識の理解をより深めることができることを目的とする。人間を身体と精神の両面から捉え、ライフステージにおける発達過程を講義する。この講義は、同時双方向型授業等の遠隔授業で行っていく。					
学習上の助言	各ライフステージの発達を関連付けて理解できるように事前事後学習を丁寧に行うことをお勧めする。					
教科書	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 人間発達学 改訂5版 / 著：福田恵美子 / 中外医学社					
参考書	指定なし					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	人間発達の概念を説明できる					HSU(1)~(3)、 OT(2) (3)、社、精、心
②	ライフステージにおける生活活動の発達過程と取り組んでいる課題について説明できる					HSU(1)~(3)、 OT(2) (3)、社、精、心
③	ライフステージにおける機能別発達過程と取り組んでいる課題について説明できる					HSU(1)~(3)、 OT(2) (3)、社、精、心
④	発達検査について説明できる					HSU(1)~(3)、 OT(2) (3)、社、精、心
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	人間発達の概略について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p2-7 で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	4		
2	発達概念の歴史的変遷について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p8-12 で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	4		
3	発達理論について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p13-26 で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	4		
4	胎芽・胎児期の発達過程と課題について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p28-35 で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	4		
5	新生児期の発達過程と課題について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p36-39 で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	4		
6	乳児期の発達過程と課題について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p40-54 で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	4		
7	幼児期 (前期・後期) の発達過程と課題について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p55-67 で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	4		
8	学童期 (低学年・高学年) の発達過程と課題について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p68-86 で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	4		
9	青年期 (中学生・高校生・大学・社会人) の発達過程と課題について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p87-102 で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	4		
10	成人期 (前期・中期・後期) の発達過程と課題について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p103-122 で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	4		

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

11	高齢期（前期・後期）の発達過程と課題について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p123-150 で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	4
12	原始反射、姿勢反射・反応、姿勢調整・移動運動について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p152-181 で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	4
13	視覚・眼球運動、ハンドスキルについて学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p182-200 で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	4
14	聴覚・言語の機能と発達、心理・社会的（対人関係）機能について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p201-227 で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	4
15	生涯発達に関する各種検査について学ぶ。 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 p230-280 で予習し、授業後半で確認テストを行い、フィードバックをする。	4
試	定期試験 達成度評価・評価ポイントを参照			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	90	0	0	0	0	90
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
	①	②		
試験	①	✓	学期末の定期試験(筆記試験)を実施して評価する。 問題(回答)形式は、記述・穴埋め・選択式である。	定試験は各自に返却し、解説する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

**担当教員：**◎渡辺俊太郎

**教員の実務経験：**作業療法士として 10 年以上の臨床経験。

**実践的授業の内容：**臨床における最新情報とともに、その専門性を生かして学生に教授する。

また、事例を通して、原始反射と姿勢反応評価、各ライフステージに応じた発達過程を説明する。

**双方向型授業：**Microsoft Teams を使用して行います。

授業時には課題ダウンロードや動画視聴などがありますので、通信容量制限がある場合には通信量に十分注意してください。

今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスの変更の可能性があります。